

P T A会報

賓根

「卒業生の皆さんへ」


 P T A会長
井添 誠 二

入学から三度の季節が過ぎ、卒業を迎えた三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

みなさんの制服姿を見るのも最後かと思うと、P T A代表として感慨深く、また保護者の一人として胸に熱くこみ上げるものを感じます。

多くの高校がある中、この奈井江商業高校で奇跡のように出会った仲間と共に学び、笑いあった日や涙を流した日は、決して忘れることのない思い出となって心に残り、今後の人生の糧となっていくことでしょう。

これからは、進学や就職と別々の道を進んでいくことになります。これからの人生のシナリオは自分自身で描いていくものです。可能性に満ちた皆さんがどんな環境に身を置き、どんな人たちと出会うかによって、今より更に輝く未来が待っています。

編集・発行No.129
奈井江商業高校
P T A事務局
奈井江町南町2区
TEL 0125-65-2239
FAX 0125-65-2350

く成長する機会とし、輝く未来へ歩み続けてほしいと思います。
末筆になりましたが、本校P T A活動にお力添えいただきました保護者の皆様、教職員の皆様に心より感謝申し上げます。


 道奈井江商業高等学校
T A・文体後援会総会

 校長
仁藤 隆

かつこい生き方を

三年間の努力を果らせ卒業の日を迎えられた三年生の皆さん、卒業おめでとうございます。また、この間、本校の教育活動につきましてご理解とご協力を賜りましたP T A会長 井添 誠二様はじめ、P T A役員や保護者の皆様、いつも温かく見守ってくださりました同窓会や地域関係者の皆様に心から感謝とお礼を申し上げます。

今、三年生の皆さんは、卒業した充実感や達成感を味わっているのと同時に、この学舎で過ごした様々な思い出が走馬燈のように脳裏を駆け巡っていることでしょう。そのすべてが皆さんにとつてかけがえのない素晴らしい思い出です。しかし、この三年間は決して順調なことばかりではなかったはずで、多くの失敗や挫折を味わった時には、自分の思いどおりにいかなくて友人を傷つけた、途中で逃げ出そうとしたこともあったのだらうと思います。それらも含め、この学舎で経験したことすべてが皆さんの貴重な財産です。その財産は、この後十年、二十年経っても皆さんの心の中に生き続け、その時々、人生を力強く支えてくれるはずです。

皆さんには、今後の人生において、「かつこい生き方」をしてほしいと願っています。しかし、「かつこい生き方」と「かつこいける生き方」は異なります。
「かつこいける生き方」とは、見栄や体裁にこだわる生き方です。弱みを隠して見栄を張る。「すごいだろう」と自慢をする。外見をよくすることに注意が向いて内面を磨くことがおろそかになる。人前では頑張りますが、人のいないところではサボります。

そんな生き方です。

一方、「かつこい生き方」とは、倫理や道徳を大切にする生き方です。人道に反したことはしません。正しい倫理観を持って、人として踏むべき道を大切にします。礼儀やマナーも大切にします。相手を不快にさせるような振る舞いは避けます。愛情や思いやりを大切に、人と接します。納得できない意見であっても、相手の意見を尊重して、できる限り受け入れます。困っている人がいれば、できる範囲で助けます。常に勉強して、自分を高めようとしています。できないことがあっても、できる方法を考えます。うまくいかないことがあっても、簡単に諦めず、粘り強く取り組みます。新しいことに挑戦する時は、弱気の心を吹き飛ばし、強気の心で立ち向かいます。叶えたい夢の実現に向けて毎日こつこつ努力します。人の迷惑になるようなことは避け、心地よい人間関係の実現を心がけます。これが、皆さんに求める「かつこい生き方」です。

三年生の保護者の皆様、改めてお子様のご卒業にお祝い申し上げます。そして、保護者の皆様がこれまでお子様へ深い愛情を注がれてこられたことに心から敬意を表します。お子様の教育に携わる機会を賜りました私も教職員にとりまして、この上ない喜びを感じております。お子様たちは、奈井江町で学ぶ喜びや町民の皆様からの支援を実感しながら、本校の教育活動を通して、多くの力を身に付けてまいりました。卒業後は、新たな出会いを求め、自分の能力や適性を最大限に生かして社会に貢献してくれるものと確信しております。どうかお子様の力を信じ、温かく見守ってください。幸いに存じます。

後に続く生徒たちにも、有意義な高校生活を送り、卒業の日を迎えてほしいと願っております。そのため、本校教職員が一丸となり、しっかりと教育活動に取り組む所存です。P T A会員の皆様におかれましては、どうか、今後とも本校の教育活動につきまして、変わらぬご理解とご協力を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。

「幸せの記憶」



3学年 担任

高橋 亜紀

令和初めての奈井江商業高校卒業生となる二十九名の皆さん、ならびに保護者の皆さま、ご卒業おめでとうござい

す。今日は保護者の皆さまにとつて、小さな背中を小学校に送り出してから十二年、小中高の学校生活の区切りの日になります。その最後の三年間の多感な時期に、共に歩んでいただけたことに感謝いたします。ひとつのクラスですが、二十九名の毎日を預かっていることの重大さに押しつぶされそうになりながら卒業式を迎えることができたのは、保護者の皆さまのご理解とご協力があったからこそだと感謝申し上げます。

私の「幸せの記憶」のひとつに、高校生だった頃のものがあります。気持のいい北海道の夏の日。窓際の席からは、校務補さんが芝刈りをしている姿が見えます。刈った芝の青くさいにおいと排気ガスのにおいが乾いた風につけて運ばれてきました。と、その瞬間から、頭の奥の奥から何かがじんわりと心地よくしみてくるような感覚がありました。特別なことがあったわけでもありません。ただ、その場にクラスのみんなと自分がいるとい



うだけの日常…それがわたしにとつて幸せな時間でした。卒業して何年も経ちますが、想い出すと心落ち着いた気分になります。

君たちはこの三年間でそれぞれの幸せを見つけることができましたか？私は、このクラスは、君たち二十九人に「幸せの記憶」をプレゼントできましたか？「幸せの記憶」が私にとつてそうであるように、二十九人で過ごした三年間、その中で乗り越えたことが、これからの新しい生活に穏やかさをもたらし、生きていく力になってくれることを祈ります。

毎年、夏が来ます。窓から見る景色を見て、きっと私は君たちを想い出すことでしょう。君たちがどこにいても、君たちの歩む先が幸多いものになりますように、心の底から願ってやみません。三年間、ありがとう。

3年間を振り返って



3学年

村山 咲希

奈井江商業高校に入学してから3年間、長いようで短く感じています。

入学当初は、慣れない環境の中で3年間過ごすのかと思うと不安でいっぱいだった。しかし、6月の宿泊研修では、それまでほとんど話したことのないクラスメイトと話すことができて嬉しかった。そして、とても晴れた空の下、みんなで協力して作ったカレーは格別に美味しかったです。

2年生は中だるみの学年と言われることもあり、少し気を抜いた生活を送っていました。授業中、集中力を切らし、友人とおしゃべりしてしまったりと、授業をまじめに受けていなかったこともあったので、後悔しています。高校生活の中で楽しみにしていた見学旅行は、光り輝く金閣寺を見て感動したこと、USJでは絶叫して楽しんだこと、友達とたくさん写真を撮ったことなど、今思い出しても、もう一度行きたいほどの思い出になりました。

とうとう3年生になり、進路活動で忙しくなりました。クラスのみんなが今までで一番苦労していました。ただ、忙しく

なつてきても学校祭は、高校生活最後ということもあり、盛り上がるという気持ちでクラスが一つになりました。みんなが満足して学校祭を終わらせることができたこともよい思い出です。それから、気持ちを切り替えて進路活動に向かい、今ではほぼ決まり、卒業を待つだけになりました。

この3年間振り返ってみると、このクラスのメンバーで過ごした高校生活は最高の思い出になりました。奈井江商業高校に入学し、このクラスのメンバーと出会えて本当によかったです。これからは、それぞれ進路が違いますが、頑張っていると思います。



進路指導部より

「今年度の進路活動を振り返って」

進路指導部長
畑 仁

今年度の3年生の進路決定状況は、以下の通りとなっています。

まず進学については、今年はほとんどがAOや推薦制度を利用しての受験でしたが、北海道情報大学に合格した2名は給付型奨学金を、國學院短大に合格した生徒は授業料減免措置を受けることができました。

次に就職ですが、今年も例年以上に求人数が多く、就職希望の生徒にとつて恵まれた年だったと思います。しかし、生徒が希望する企業の募集人数が少なかったことや、一つの企業に応募者が殺到したこともあり、予想以上に苦戦を強いられた年でもありました。そんな中でも、生徒たちは諦めない気持ちを強く持ち、就職試験を受け続けましたので、残り1名というところまで来ることができました。

今年度、1、2年生も含めて進路実現に向けた取り組みを見て感じたことは、「自分が高校を卒業した後、何をしたらいいのかわからない」生徒たちがあまりにも多いということです。中に

は、自分の進路をしつかり見据え、その実現のために着実に努力を重ねている生徒もいますが、まだまだ少数です。また、自分の進路希望は決まっているものの、何の努力もせず、自動的に進路が決まってくれると信じて疑わない生徒もチラホラ見受けられます。

自分から動きを作らなければ、誰も他人の進路なんて決めてはくれません。まずは、自分が高校を卒業したらどんな進路を選択したらいいのかということを、保護者の方も混じえてしっかり考えること、その上で、そのためには、何をやらなければならないのかということも合わせて考え、その実現に向けて努力を続けることが大切だと思います。

令和元年度 3年生進路決定状況 (令和2年1月末現在)

			男	女	計
進学	大学		2	0	2
	短期大学		0	1	1
	専修・各種学校		3	1	4
	合 計		5	2	7
	未決定者		1	0	1
就職	民間企業	空知管内	11	6	17
		道内	3	0	3
		道外	0	0	0
	公務員		0	0	0
	合 計		14	6	20
	未決定者		1	0	1

令和元年度 進路合格・内定状況

令和2年1月末現在

<進学先>

《大 学》

北海道情報大学 2名

《短期大学》

國學院大學北海道短期大学部

《専修・各種学校》

北海道情報専門学校

吉田学園情報ビジネス専門学校

札幌マンガ・アニメ&声優専門学校

経専北海道観光専門学校

<就 職>

奈井江町

北海道精密ツール株式会社

社会福祉法人 日本介護事業団 3名

杉下塗装工業

滝川市

社会福祉法人 滝川市社会福祉事業団

砂川市

カワテックス株式会社

株式会社 砂川ガス

有限会社 新十津川商事(マツダオートザム V1A12)

第一興産株式会社(砂川支店)

赤平市

株式会社 ニチイ学館(赤平市立病院医療事務)

上砂川町

マイクログラス株式会社 北海道工場

美唄市

株式会社 松岡自動車

株式会社 道央メタル

株式会社 美唄自動車学校

株式会社 ハビングループ

株式会社 アンビックス ピパの湯 ゆ〜りん館

恵庭市

山崎製パン株式会社

3名



見学旅行の思い出

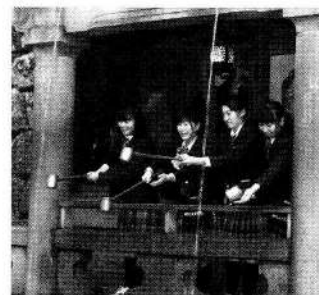


2学年
高崎 真花

みんなに出会って、1年と半年が経ち、この4日間を通してもっとと団結力が高まり、楽しかった思い出や、大変だった思い出ができた修学旅行になりました。

私が1日目で楽しみにしていた事は、清水寺で八つ橋に挑戦することでした。私の家族はみんな八つ橋のあの独特な匂いが苦手な食べられないので、その影響で、私も食べたことがありませんでした。確かに匂いは独特でした。甘いものが好きな私は、チョコの八つ橋を試食して、とてもおいしかったのでお土産として買いました。お寺では、恋おみくじをひいたり、お水で清めたりして、青春が味わえました。

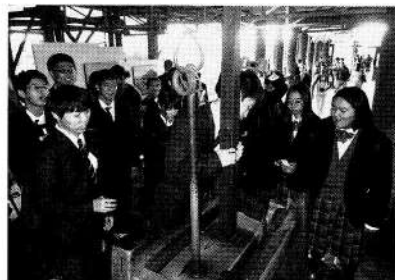
2日目、とてもイライラしたり、泣いたり、色々あった自主研修になりました。朝は通勤ラッシュで大阪まで行く電車内はこんなにもかというほど混んでいました。ま



先は、道頓堀です。グリーコまでレッツゴー！

きました。感動しました。こんなにもでかいのかと！初めて大阪に行って、広くて建物もたくさんあって、どこにいてもいい匂いがして本当に最高でした。そしてたこ焼きを食べました。時間がつめつめの中、急ぎながら食べるたこ焼きはサイコーでした。伏見稲荷神社に向かう電車で眠たくなって、寝ちゃいました。私が楽しみにしていた千本鳥居にやっといけました。日本にこんなにきれいなところがあることをとても誇りに思いました。新幹線に乗るのはほんとにギリギリでしたが、楽しかったです。

3日目、ディズニーシー！！やつと夢の世界に行きました！ソアリンには乗れなかったけれど、たくさん乗った物に乗れました。初めて行ったディズニーシーで仲間といふ思い出ができたし、友情がより深まったと思いました。このメンバーでよかったです。楽しい思い出がたくさんでき、本当に3泊4日は短いなと思いました。この思い出は絶対に忘れることはありません。



1年間を振り返って



1学年

小田島 悠真

今年度を振り返ると、個人そしてクラス全体での良かったこと、逆に悪かったことなど、継続・反省すべき点がいくつかありました。

良かった点では、9月末にあった体育祭です。私は数週間前に左足首を骨折し、手術を終えて退院した直後であり、体育祭には出場できませんでした。私は体育祭をとても楽しみにしており、出場できなくて、すごく悔しかったです。しかし、出場しなくてもできることがありました。それは、応援です。そこから私はカメラを片手に全力で皆を応援しました。時には小走りで応援し、ゴールしたときには一緒に喜びを分かち合い、とても幸せで友情を感じた瞬間でした。体育祭では応援を専門として見たもの、そして行事に対してのクラスの団結力も感じることができ、今後のクラスの中を向上させるとともに、クラス全体の協調性をはかるとても良い行事になりました。

そして反省すべき点もありました。それは普段の授業に対する姿勢、態度です。正直に言いますと、私が過去過ごしてきた学級の中で、一番騒がしく、ケジメがついていません。しかし、私自身にとつ



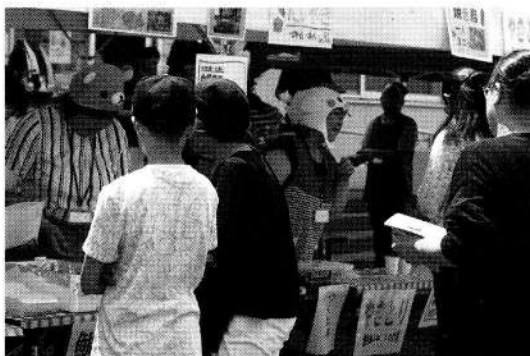
て、一番過ごしやすいとも感じています。それはなぜか。クラスメイト全員の温かさです。もちろん愚痴を言っている人の悪いところばかり見ている人など、人それぞれです。しかし誰かが何か困っていたら相談にのり、時には手を貸すなど、互いに助け合う、助け合いの精神は、一学年として誇ることのできるものがあります。

今後は反省すべき点はすぐに改善し、全員が楽しく、伸び伸びできる環境づくりを、クラス全体で目指し、頑張りたいと思います。

令和元年度 PTA文体後援会活動

- 4月8日(月) 奈井江商業高等学校PTA・文体後援会入会式
- 4月20日(土) 奈井江商業高等学校PTA・文体後援会総会
- 4月26日(金) 奈井江町PTA連合会総会
- 5月18日(土) 高P連空知支部総会(美唄市)
- 5月29日(水) 第1回PTA・文体後援会役員会
- 6月1日(土)～2日(日) 全道高P連大会(苫小牧市)
- 6月12日(水) 第2回PTA・文体後援会役員会
- 7月10日(水) 第3回PTA・文体後援会役員会

- 7月20日(土)～21日(日) 学校祭参加協力
- 9月30日(月) PTA会報「實根(第128号)」発行
- 11月18日(月) 奈井江町教育の明日を考える会 兼奈井江町PTA連合会研究大会
- 11月23日(土) 高P連空知支部秋季研修会(深川市)
- 2月下旬 奈井江町PTA連合会実行委員会
- 3月1日(日) PTA会報「實根(第129号)」発行
- 3月12日(木) 第4回PTA・文体後援会役員会(予定)



「学校祭 PTA模擬店」



「学校祭 餅まき」

「自分新発見 夢、奈商で。」

ようこそ 奈井江商業高校へ

卒業おめでとう 奈商プライド 輝く未来へ新たな挑戦!【自主・和協・希望】



赤い羽根共同募金



体育大会



商業教育フェア



奈井江町教育の明日を考える集い



高大連携学校見学



あそびのフェスティバル



球技大会



ビジネスマナー講座(奈井江中学校)



着こなしセミナー